

平成17年8月22日

高温焼却炉設備用燃料供給ポンプの軸封部からの 油漏れについて

平成17年8月19日午前11時27分頃、当所集中環境施設雑固体廃棄物減容処理建屋*¹ 付近の屋外において、高温焼却炉設備*² に燃料を供給するための燃料供給ポンプの軸封部*³ から重油が漏れていることを、パトロール中の委託運転員が発見しました。ただちに、高温焼却炉を停止し当該ポンプを自動停止させ、午前11時31分、油の漏えいが停止したことを確認いたしました。

当該軸封部の調査の結果、軸封部の部品に摺動傷、欠陥、変形等は見られませんでした。

このため、軸封部からの漏えいの原因を検討した結果、何らかの原因で当該軸封部の部品に使用されているスプリングの押し付け力が弱まったため、シール面の隙間が広がったことから漏れたものと推定しておりますが、今後、分解した軸封部を確認いたします。

なお、当該軸封部については新品に交換いたします。

漏れた量は約210リットルで、防油堤内で溜まっており、仮設ポンプにより回収・処理しました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

* 1 集中環境施設雑固体廃棄物減容処理建屋

発電所で発生する雑固体廃棄物を高圧圧縮、高温焼却することで減容するための施設を取めた建物。

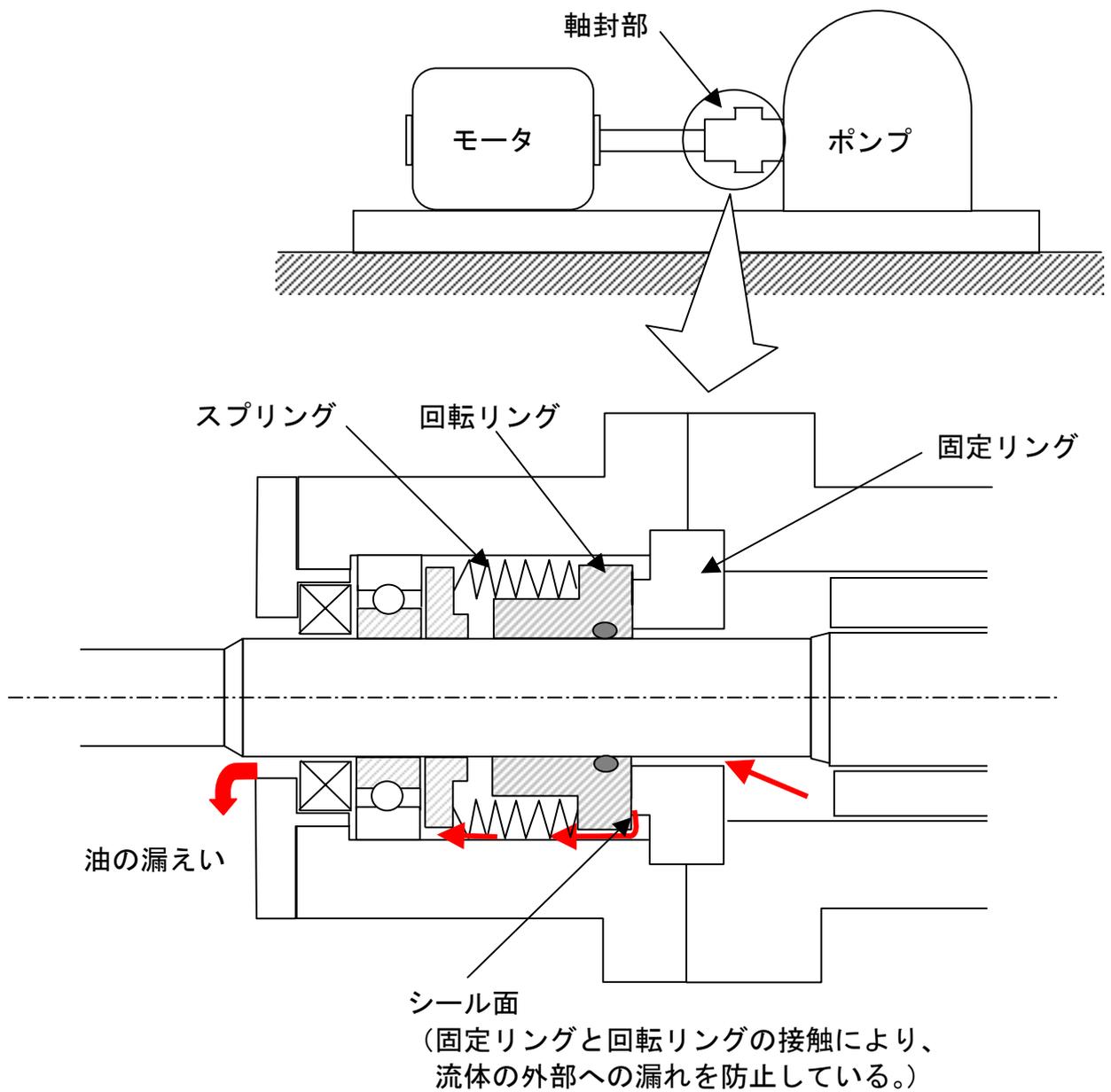
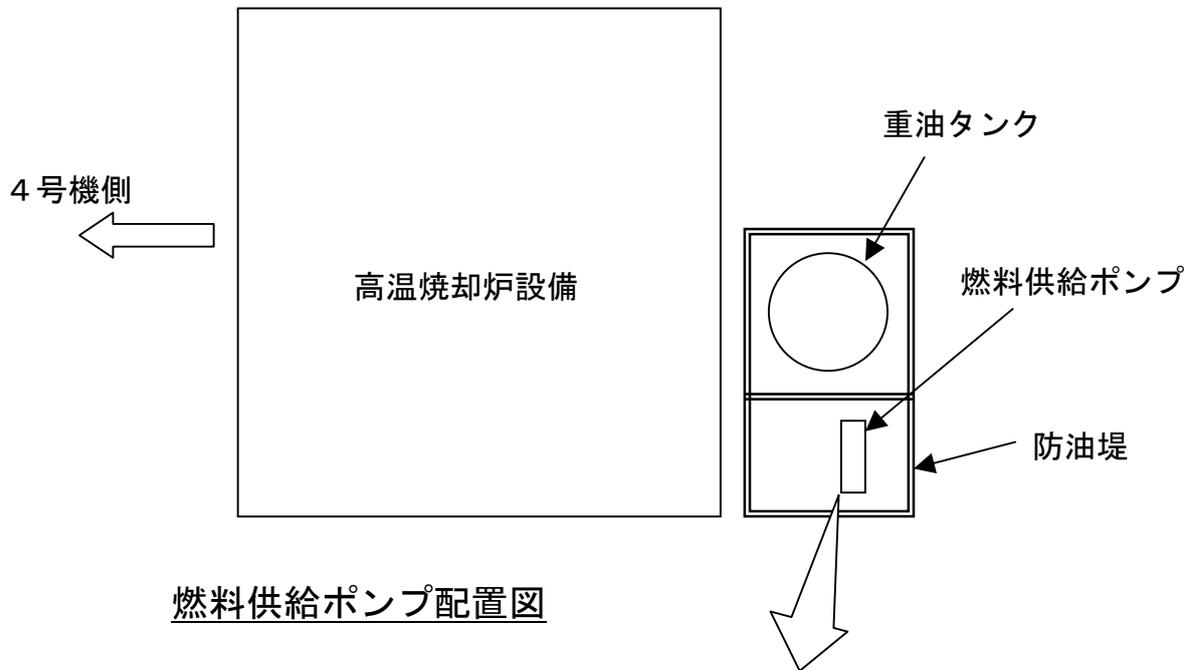
* 2 高温焼却炉設備

不燃性の雑固体廃棄物を約1450℃の高温下で焼却、溶融処理し、容積を約1/5に減容する設備。

* 3 軸封部

ポンプ内部の油が軸を通してポンプ外部に出ないようにするために設けられている部分。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成15年11月10日お知らせ済み）における区分Ⅲの事象として、休前日に発生した不適合事象を公表しているものです。



燃料供給ポンプ軸封部概略図